

なかの



# 市議会だより

11月号

平成17年11月7日発行  
No.2

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●E-メール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



新市誕生「元気まつり」記念植樹（市長、議長と将来を担う子どもたち）

| 市政一般質問 | 陳情<br>1件 | 請願・陳情<br>不採択 | 意見書案<br>3件 | 事件案<br>4件 | 人事案<br>1件 | 決算認定<br>24件 | 予算案<br>6件 | 予算案<br>1件 | 条例案<br>4件 | 議案件数及び議決内容 | 会期   | 閉会    | 開会   |
|--------|----------|--------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|-------|------|
|        |          |              |            |           |           |             |           |           |           |            | 21日間 | 9月26日 | 9月6日 |
| 42件    |          |              | 可決         | 可決        | 適任        | 認定          | 可決        | 承認        | 可決        |            |      |       |      |

9月定例会

## 指定管理者制度について

岡村郁子

**質問** 指定管理者制度の今日までの経過はどうか。  
**答弁** 平成15年の地方自治法の改正で、公の施設管理に民間能力を活用し、住民サービスの向上と経費節減等を図るため導入された。

**質問** 指定管理者の条件は何か。  
**答弁** 条件は法人やその他の団体で、個人は対象外。範囲について特段の制約は設けず、議会の議決を経れば、一般的な事業者や団体も指定管理者になれる。

## 三位一体改革について

浦野良平

**質問** 国民のための真の行政改革を実行するには、政府そのものの改革と政府の誠実さが一体であると考えるがどうか。

**答弁** 改革が地方の行財政運営に及ぼす影響は大きく、また、市民生活に直結する事項だけに、市民への過大な負担増とならないよう、改革に盛り込んだものについては、誠意を持って対応し、国と地方の信頼関係を保てるような行政改革を進めてほしいと考えている。

**質問** 新年度に向けての、政策方針はどうか。

**答弁** 中野地域と豊田地域の早期一体化と均衡ある発展、福祉の充実、経済の活性化、子育て支援、元氣増

進に向けた施策を進める。現下の厳しい地方財政の状況を十分認識し、事務事業の精査、厳選と長期財政見通しとの整合を図り、積み上げ方式で行っていく。

## 入札制度について

**質問** 入札から落札までの工程はどうか。

**答弁** 公共事業の発注にあたっては、工事費等の積算は、国・県の提示された単価等を基準に、適正な価格で積算している。また、一つ一つの事業を厳選して発注に心掛けています。

**質問** 入札競争制はどうか。

**答弁** 平成13年4月から入札回数を2回として実施してきた。工期等の関係から

**質問** 指定管理予定者への説明はどのように行うのか。  
**答弁** 募集段階で実施する。  
**質問** 対象となる施設は。

**答弁** 市役所、支所、小・中学校等を除いた140余施設。  
**質問** 行政との関係は。

**答弁** 毎年度終了後事業報告の提出を受け、管理継続が適当でない時は、指定の取消しを行うことができる。

回数制限を撤廃し運用した事例もある。最近、落札率が年々上昇傾向にある。今後の動向を注視し、「公平・公正」を基本理念とし、競争性が十分発揮できる適正な方策を研究する。

**質問** 市内業者の育成は。  
**答弁** 受注機会の下方拡大や、市内に本社を置く業者への優先発注に意を注いでいる。今後更に徹底していく考えである。

## 平成16年度決算について

**質問** 当初予算に比べても、また、補正予算計上額より不用額の多い項目がある、この理由はなにか。

**答弁** 不用額については、指摘のあったように、補正予算額より不用額が多くなっている項目、また、当初予算に対し支出額が少なく、多額の不用額の項目がある。

## 県機構改革再編について市長の考えは

高野忠衛

**質問** 県の再編案提示、説明はどのように行われたか。  
**答弁** 3月31日付けで県民意見の募集についての依頼があり、市のホームページで市民にお知らせした。  
**質問** 再編案についてどのように対処されているか。  
 地元の意見、実情について調整の余地はあるのか。  
**答弁** 市長会では各市の意見を集約し、5月27日付けで要請書を提出し、6月23日には地域の主権を尊重する事、名称は分かりやすいものとする等を再度伝えた。  
**質問** 地域高校再編問題について、6月議会後の状況はどのようになっているか。  
**答弁** 小・中・高校の関係

## 国、県行政に係る事業、事項について

**質問** 懸案の仮称笠倉壁田橋の早期建設について、どのような要請を行ったのか。  
**答弁** 5月10日の中野市土木事業要望会、6月3日の県議会土木住宅委員会の現地視察の際にも、陳情書を提出した。新市の一体性を図る上からも、早期建設に向け努力して参りたい。  
**質問** 国道117号バイパスの早期開通のための要請と見直しはどうか。  
**答弁** 土木事業要望会で要望し、用地、補償物件で一部難行箇所があるが、早期完成を図ると聞いている。  
**質問** 無堤解消、水害予防の要請と築堤計画の状況は。  
**答弁** 各種同盟会で要望しており、今後とも積極的に活動を展開して参りたい。

### 北陸新幹線について

武田 貞夫

質問 北陸新幹線工事の進捗状況はどうか。

答弁 長野、金沢の白山車両基地は、平成26年度完成を目指している。高社山トンネル北工区はほぼ完了し、月岡高架橋を施工中。南工

区は11月末に完了。高丘トンネル北工区は55%、南工区は53%の進捗率である。

質問 地区対策委員会の要望への対応はどうか。

答弁 日照不足による農作物被害対策は、5月に鉄道・

運輸機構が2年程の調査を県農業試験場と契約した。湧水対策は、今後、鉄道・運輸機構から、田上区、岩井東区、岩井区の各対策委員会へトンネルからの湧水を利用した恒久対策の提示がされる中で、地元と協議し、方向が決定された場合、市として対応できるものについては協力して参りたい。

### 売れる農業推進について

湯本 隆英

質問 観光農園並びに直売所の現状についてどうか。

答弁 JA中野市等が運営する農産物直売所があり、相当の観光客が訪れている。しかし、個人的なものや一時的なものもあり、設置数

は把握できない状況である。質問 夏季における観光客等の入り込み状況はどうか。

答弁 7月8月でオランチエは約5万7千人、前年比0.8%増。豊田道の駅直売所は約9千7百人、約27%増

となどを取り入れて実施できないか。また、唱歌「故郷」にまつわる思い出、エピソードなどを全国に募集して、文集を作るといいうようなことができないか。

質問 観光客を市全体で迎えるためにも、統一感の持てる「のぼり旗」を設置したり、イベント等はどうか。

答弁 観光農園等が、統一してアピールすることは、有効な方策であり、支援については、市全体の商品の品質向上、均一化も含めて施設を運営される方々の意見をお聞きし検討する。

### 「中野ブランド」づくりについて

町田 博文

質問 中野市は中山晋平と高野辰之のふるさとであることから、商標登録を念頭に置きながら、たとえば「カチューシャ物語」「ふるさと鉄道」又は「うさぎ・こぶな」などのネーミングで、中野特産の詰め合わせを売り込むといった戦略はどうか。

答弁 地域ブランドとして定着する可能性があるネーミングは、関係者と協議しながら、支援等を検討して参りたい。

質問 中野のPRのために中山晋平記念音楽賞の拡充ができないか（音楽賞の名称を高野辰之の名前も入れるようにして、対象者を大人にも拡大し、地域を全国に拡大し、受賞者への賞金景品もはずんで、中野の農産物を定期的に贈呈するこ

となどを取り入れて実施できないか。また、唱歌「故郷」にまつわる思い出、エピソードなどを全国に募集して、文集を作るといいうようなことができないか。

答弁 中山晋平記念音楽賞の一般公募は、周知、審査、表彰などで多額の費用が見込まれることから、現時点では考えていないが、両先生の生誕地にふさわしい音楽賞のあり方を今後研究し

そのほかの質問

文字・活字文化の振興について

質問 市街地の公の駐車場の利用状況はどうか。

答弁 詳細は把握していないが、平日の昼間は第1駐車場で約5割、第2駐車場、約7割の駐車があり、曜日や時間帯によつては満車に近い状態になる時もある。

### 地域農業について

西澤 忠和

質問 農業後継者育成と農業振興の取り組みはどうか。

答弁 新規就農者支援事業等で後継者の確保に努めており、不耕作地等を有効活用するため、総合調整員を配置し農業委員と連携の上、農地の流動化に努めてきた。また、農業委員、JA及び総合調整員が連携して交渉し、経営規模拡大になる流動化、団地化を進めていく。

質問 中野ブランドづくり推進の取り組みはどうか。

答弁 基幹品目である、ぶどう、りんご、もも、アスパラガス等は改植時期を迎えているものが多く、JAの生産振興計画との調整を

図りながら、今後有望な品種への更新を進めている。「中野市循環農業推進協議会」を設立し、きのご磨培地を活用した付加価値の高い特色ある農産物の生産に向け、事業を進めて行く。

質問 ギフト農産物のデザインの確立、イメージアップの考えはどうか。

答弁 現在発行している季節のギフトのほか、定期的な中野市農産物セットの販売とPRについても、今後検討して参りたい。

中心市街地の駐車場について

質問 市街地の公の駐車場の利用状況はどうか。

答弁 詳細は把握していないが、平日の昼間は第1駐車場、約5割、第2駐車場、約7割の駐車があり、曜日や時間帯によつては満車に近い状態になる時もある。

質問 市営駐車場の無料開放の成果はどうか。

答弁 中心市街地を訪れる方に気楽に利用いただき、中心商店街の活性化に効果が出ていると考えている。

## 地震対策について

金子 芳郎

**質問** 中野市の耐震政策の取り組みはどうか。

**答弁** 本市としても耐震政策に取り組みむこととして、事務を進めている。

本年度は、市民意向調査を行うため、本議会に補正予算をお願いしている。

**質問** 中野市設計協会との提携はどうか。

**答弁** 耐震診断には、市内の建築士にもご協力をいた

だければと思っている。

**質問** 市として助成、補助の考えはどうか。

**答弁** 耐震診断は無料とし、耐震補強工事については、県の補助制度を活用し、補助の上乗せは考えていない。

**交通対策について**

**質問** 交通弱者への対応についての現状はどうか。

**答弁** 障害者や高齢者の皆さんに対する助成のほか、交通弱者の日常の足を確保するため、庁内検討委員会を組織し、調査研究を進めている。

**質問** 今後どのように進めていくのか。

**答弁** 庁内検討委員会のほか住民代表、関係団体等による検討委員会を組織し、実現可能な施策の実施に向けて努力して参りたい。

**路線バス回数券について**

**質問** どのような経過で制度導入となったのか。

**答弁** 合併協議会における事務事業のすり合わせの中で、旧豊田村で実施していた制度を、全市に拡大したもので、路線バスの利用促進を図り、バス路線の維持に資することを目的とした事業である。

**質問** 電車のみで路線バスのない地域の電車利用者への上乗せ助成はどうか。

**答弁** 電車利用者への上乗せ助成は、現在、考えていない。

**千曲川のラフティングについて**

**質問** 今後の取り組みはどうか。

**答弁** 千曲川水辺・里山環境対策事業の一環として、自然観察と環境教育の目的で行ったもので、本年度は、県のコモンズ支援金を得て実施しており、来年度についても同制度の活用を見据え事業を計画して参りたい。

## 高校改革プランについて

野口 美鈴

**質問** 経過と高校関係者や行政の対応はどうか。

**答弁** 市教育委員会では9月7日、県立高校再編整備候補案の白紙撤回を求める陳情」を行った。3高校同窓会長との懇談や小・中・高校の学校評議員代表者による「高校問題に関する懇談会」を開き、今後幅広い層の実行委員会を立ち上げ学習や論議を深めるとした。

**質問** 誰もに参加できる公開での学習、論議の場を。

**答弁** 統合対象校だけの問題ではないので、より多く

の市民の皆さんが参加できる「市民会議」に発展させ、県教委の考えるプランの内容、推進委員会の審議状況及び総合学科高校について学習し、地元高校のあり方が地域社会の振興や教育にどんな影響があるか、議論を深めていただくとともに、3高校存続を願う声が盛り上がることを願っている。

**質問** 3高校存続に向けて、30人規模学級の高校への導入も検討すべきではないか。

**答弁** (市長) 一方法としての得ている考えで、捨

てがたい選択肢でもある。(教育長) 高校への30人規模学級は財政的にも何にしてもほとんど不可能に近い。

**質問** 教育は財政最優先でなく育ちを最優先にと願う。

**答弁** 大きな集団で鍛えるのも教育の一つと考える。

**「交通弱者」が安心して利用できる交通手段の進捗状況について**

**質問** 一年半の間の進捗状況と今後の対応はどうか。

**答弁** 一年前に一回庁内検討委員会を開いたが、住民代表・関係団体等の検討委員会を組織し、実現可能な施策の実施に向け努力する。

**牧ノ入一帯の森林の樹木の落葉による被害について**

**質問** 山林だけでなく、個人の樹木や果樹にも広がりが、早急な対策が望まれているが、被害状況の把握と原因や今後の対応はどうか。

**答弁** 8月25日に県と現地調査を実施。原因は「カツラマルカイガラムシ」によるもので、被害面積は13haに及び県と連携しながら具体的方策を検討し対応する。

**乳幼児医療費窓口無料化について**

**質問** 県の窓口無料化実施

についてのアンケートに協力すべきではないか。

**答弁** 制度見直しは「福祉医療のあり方検討委員会」で検討されるべきとする市長会の考えと同じであり、回答はしない方針である。

**質問** 市民のために無料化に向けなぜ協力できないか。

**答弁** 窓口無料化によりコスト意識が低下し、自治体負担がかさむことになる。

市民のためになるかどうかを根本からトータルして考えれば、今現在では窓口無料化には賛成できない。

## 昨年のイングリッシュガーデン 視察への補助金等について

青木 豊一

**質問** 本事業補助金等の問題提起後の対応、補助金支出内容に問題はなかったか。

**答弁** 補助した研究会事務局から補助金は適正に使用されたと説明を受けた。

**質問** 同会事務局は、会員各位に「中野市から交付された研修補助金等の会計報告」で反省会費1人3千円19人分5万7千円、中野市補助金12人分60万円、補助対象除外者分5人10万円、ビデオテープ代等含め収入合計79万1千円。支出で長電観光にガイド等追加料金69万6800円、懇親会等含め支出合計78万4220円です。一方、市に提出した「精算書」は収入支出とも12名分265万2千円である。これでも問題がないと言えるか。

**答弁** 会員向けは内部文書で、関知していない。

**質問** 補助対象者12名分を参加団体が全員で使うことは許されないのではないか。

**答弁** 団体補助金である。

**質問** 「新市防災計画策定」及び災害対策について

**質問** 防災計画の策定期間災害弱者対策はどうか。

**答弁** 年度内に策定したい。

**質問** 高圧線の実態と「所要補正」の対応はどうか。

**答弁** 高圧線延長40km弱で当面現状での対応としたい。

**質問** 県下5市で実施しており、課税方法が問題では

**答弁** 所要補正は市長の裁量で、補正はしていない。

**西条グラウンドの将来と南部学校給食センター移転新築等教育行政について**

**質問** 南部学校給食センター建設は良いが、西条グラウンドの将来構想はどうか。

**答弁** 具体的計画はない。

**質問** 計画行政とは程遠い。予定地は冬期間排雪場所だが建設部と相談されたか。

**答弁** 相談しないが冬期間の排雪場所は今後検討する。

## 中野商工会議所共通商品券について

小泉 俊一

**質問** 有効活用し活性化を図ってはどうか。

**答弁** 商品券は、平成11年度から行っているもので、毎年、3月と9月に発行している。近年の商品券の販売実績は高齢者の祝い品、各種大会の記念品等に使われ、年間二千万円の発行額に対し、約5割の販売額になっている。

市においても、毎年職員に対し、購入の斡旋を行うと同時に、商品券のPRに努めている。市での商品券活用には、今までも増して促進を図って参りたい。

**質問** 商品券で市発注の工事や物品の支払いはできないか。また、商品券での支

払いを受諾した企業の地域貢献度を評価できないか。

**答弁** 金銭での支払いが原則となっていることから、大変難しい。

地域貢献度については、市の選定委員会の中で反映させることは可能と思われるが、この事が地域貢献に該当するかどうかは、疑問な点もある。いずれにしても、商品券の発行が、商業の振興及び商店街の活性化に大きな役割を果たすものであることから、市の事務事業での活用や職員への購入斡旋などを通じ、一層の促進に努めて参りたい。

**市内のプールの管理について**

**質問** 水質基準と排水の状況はどうか。

**答弁** 現在、市内の小・中学校15校、市民プール及びB&G海洋センタープールの排水は、近くの河川に放流している。

利用期間中は毎日、水温、気温、残留塩素等について検査し、衛生的に利用できるように管理に努めている。

(注)  
「所要の補正」とは、固定資産の評価をするときに、宅地等の状況に応じ、評価に不均衡が生ずると認められる場合に、行う補正をいい、市町村長が均衡を図るため必要があるときに行うものです。

## 温泉無料招待券について

高野 福一郎

**質問** 現在行っている温泉無料招待券を、平成18年度も何らかの方法で実施できないか。

**答弁** 温泉無料招待券配布事業については、豊田地域において、平成2年度に、住民福祉の増進に寄与するとともに、地域の活性化を目的に始めたもので、現在一人当たり4回分の招待券を交付している。中野地域で実施している、高齢者福祉事業の温泉等入浴利用券

給付事業は、高齢者の交流を深め、社会参加の促進、生きがいを高めることを目的に、70歳以上で希望する方に8回分の利用券を交付している。平成17年度は現行どおり実施することとし、発行枚数、対象者等の事業内容を検討、調整のうえ、平成18年度からは統一して行うこととしている。

**高野辰之記念館について**

## 公共施設の行政コスト計算について

高木 尚史

**質問** 決算書に基づいてバランスシートを作成しているが、市民会館、図書館、

体育施設などの行政コスト、保育園などの事業コストについて、施設の原価償却費、光熱水費、人件費、一般財源投入費等を計算して、施設の現状と税の使途について、公表してはどうか。

**答弁** 普通会計で目的別・性質別経費を合わせてコスト分析をしているが、原価償却費等は過去に遡って計算をしなければならず、現

段階では困難である。

しかし、公共施設の維持管理をしていくために、一般財源の投入を明確にし、施設の使用料の見直しや人件費の削減等を検討していく上で、必要と思われるので、既に取り組んでいる先進市の事例を参考に研究していきたい。

## 指定管理者制度について

**質問** 指定管理者の選定委員会に、公平・公正を図るため

**質問** 記念館隣のテニスコートを移転してはどうか。

**答弁** 永田テニスコートは、利用者も徐々に増加しており、移転は考えていない。当面テニスコートを囲むフェンスは、目立たない工夫をし、記念館と調和の取れるよう今後、研究して参りたい。

**質問** 記念館と遊歩道の看板を多くし、見やすいものを設置してはどうか。

**答弁** 案内看板や道標の設置は、景観に配慮しながら、必要最小限の方法を皆さんと検討したい。豊田飯山インターから記念館までの間

には、案内看板がないことから設置を検討したい。

**質問** 庭園の整備はどうか。

**答弁** 平成8年9月に前庭に博士の銅像を建立し、現在の姿となっており、冬囲いや樹木の手入れ等は地元老人クラブに、花の苗は永田小学校4年生に協力願ひ、景観保持に努めている。

## 斑尾高原自然休養林について

**質問** 自然休養林の完成後の管理はどうするのか。

**答弁** 県が事業主体で生活

## 公用車のあり方について

**質問** 16年度の高速度道路利用料はいくらか。主な車両にETC車載器を搭載して経費削減を図ってはどうか。

**答弁** 約142万円で、経費削減につながるか試算し導入について検討したい。

**質問** 公務に私用車を使用して事故が発生した場合、補償問題の対応はどうか。

**答弁** 私用車の使用状況は把握していない。私用車の公用車扱いについて、事故発生時の取り扱いも含め、研究したい。

環境保全林整備事業として平成6年から2年間で整備されたものであり、完成から平成13年度までは、豊田村として手入れ等を行ってきた。今後は、永田財産区の皆様を始め地域の皆様に相談し、維持管理の方法を検討して参りたい。

**質問** 水芭蕉は壊滅寸前だが、補植等の予定はどうか。

**答弁** 苗の養成を行っており、大きくなったものから植えていく。今後、手入れが必要なことから、地域の皆様の協力も得られるよう相談しながら行っていく。

## アメリカシロヒトリ等の防除対策について

**質問** アメリカシロヒトリが大量発生しており、初期の対応が遅かったのではないか。公的施設以外の高齢者世帯や母子世帯などの防除対策が困難な者に対する助成制度を設けてはどうか。

**答弁** 各区に防除部長を選任していただき見回り調査をお願いしている。一般家庭については所有者が駆除を行っていただきたい。助成制度は今後研究したい。

### 交通災害対策の充実を

小橋 要

**質問** 本年の死亡事故2件、交通事故根絶の施策についてどのように行っているか。

**答弁** 交通安全運動推進計画に基づき高齢者の事故防止、シートベルト着用等各種啓発活動を推進している。

**質問** 関係機関との連携についてはどうか。

**答弁** 死亡事故発生の場合、条例に基づき警察、安全協会、地元区と協議し施設整備や啓発等の対策を進める。

**質問** 水害時に交通不能となる三水中野線の改良は。

**答弁** 改良計画を具体化するため、関係団体、関係区

への説明会を開催し、測量と地質調査を行い、地元と協議しながら詳細設計を行うていく予定と聞いている。

**質問** 交通災害共済の加入率低下についてはどうか。

**答弁** 13市が同様の傾向、加入促進に努めて参りたい。

**言葉の力、日本語文化を大切に**

**質問** 情報伝達の方法が時代の流れとともに変わり、言葉の力を改めて思う。使

い方によって感動、激励、共感を与え、反対に攻撃、

傷つけ、差別につながると思うがどうか。

**答弁** 言葉は人に与える影響が大きく、文化を築く重要な役割を果たしている。

**質問** 最近若者言葉が気になるがどうか。

**答弁** 最近カタカナ言葉や若者のつくられた言葉の氾濫に憂いを感じている。

**質問** 日本語文化の素晴らしさや言葉の深みを学校で覚えさせてほしいがどうか。

**答弁** 学校教育では市費で指導員や図書館事務を配置し読書活動に力を入れている。言葉の混乱は学校だけでなくPTAや育成会等で

言葉の大切さを伝え、家庭や地域でも心がけてほしい。

### 台風23号の災害後の対策は

林 統一

**質問** 上今井の本沢川の樋門に固定式大型排水ポンプの設置はできないか。

**答弁** 県土木部及び中野建設事務所に対し強く要望しているところで、機会あるごとに要望を続けていく。

当面、樋門近くに鉄骨の架台をつくり、市が所有している排水ポンプ車及び建設業者、リース業者等のポンプを借り上げ対応したい。

**質問** 正確な情報を住民に早く伝えることが大事では。

**答弁** 流域の降水状況、ダム

の放流等の情報を迅速かつ的確に把握し、有線テレビ等で市民に提供していく。

**質問** 千曲川河川敷の柳や桑の

桑の大きさを伐採できないか。

**答弁** 河川管理者の国土交通省千曲川河川事務所中野出張所に、伐採について、お願いして参りたい。

### 産業廃棄物処分場について

坂本 静夫

**質問** 操業期間の延長の要望があると聞くがどうか。

**答弁** 16年12月、埋立容量に残余がある事を理由に期間延長の願いが出された市では豊田地域の区長会の

審議内容を見て対応したい。

**質問** 旧豊田村では産廃処分

の事業変更計画の際に県へ意見回答したがどう思うか。

**答弁** 産廃処理施設の操業は、平成13年に業者と村で協定書を取り交わし、平成18年3月31日までと定めた平成14年、施設の変更申請に村の意見書で、操業期間は協定書のとおりとした。

**質問** 産廃施設の周辺地域の環境はどうか。また、下

**答弁** 1学年1学級では、団体競技や集団での遊び、多様な人間関係を形成する機会が少なくなるため、将来に向け、統廃合は全学的に検討していく必要がある。

**質問** 豊田地域の教員住宅の管理はどうなっているか。

**答弁** 穴田と上今井の2戸は、老朽化が著しく使用に耐えないことから取り壊し、跡地の利活用については、今後検討して参りたい。

**質問** 学校の統廃合についての考えはどうか。

**質問** 操業期間の延長の要望があるとして聞かれています。

**答弁** 環境調査は、県及び旧豊田村で実施し、いずれも環境基準を下回っている。調査結果から、周辺住民及び下流域等への影響はないものと考えている。

**質問** 豊田中学校に施設が隣接しているが影響は。

**答弁** 県が13年度にダイオキシン類の調査を行ったが、環境基準を下回っていた。

**アスベスト対策について**

**質問** 市の施設の状況はどうか。住民に影響はないか。

**答弁** 「中野市アスベスト対策委員会」を設置し、調査を行い、疑いのある施設は専門機関に検査依頼した。結果は1施設に含有が認められたが、飛散防止策が取られており、健康等への影響はないと考えている。

**質問** 施設改善の具体策は。

**答弁** 検査の結果、アスベストが検出された場合は、建物の構造などを見ながら対策を講じて参りたい。

**質問** 国へも責任を求めるべきと思うがどうか。

**答弁** 国には、市長会を通じて財政支援を強く求めた

## 行政改革大綱の見直しについて

佐藤 秀彦

**質問** 行政改革大綱を見直す要因は何か。  
**答弁** 行革大綱の個々の内容見直しではなく、集中改革プラン」を策定し、実行方策を明確にする。

**質問** 16年度に取り組んできたコスト意識の導入と企業経営意識の導入、恒常的改善の手法と評価及び定員管理と時間外手当の支給基準等の実施状況と評価は。  
**答弁** 合併が最大の行革の推進との考えから、指摘の

各内容については具体的なルールを策定せず、業務執行や事業実施の中で、職員に浸透を図ってきた。  
**質問** 今後の取組み方策の中で民間の改善講習会の参加、小集団活動、専属スタッフの確立等が必要では。  
**答弁** 合併が行革の出発点と考え、集中改革プランを実行計画とし実現に努める。

## 総務文教委員会報告

条例案3件、予算案2件、決算認定5件、陳情1件を15、16、20日に審査しました。

主なものは、条例案では、水防法の改正に伴い所要の改正を行うための、中野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案ほか2件については、いずれも原案どおり可決されました。

予算案では、衆議院議員総選挙に係る経費について専決処分をした一般会計補正予算（第1号）については、原案どおり承認されました。

一般会計補正予算（第2号）は、三億六千六百四十六万四千円を増額し、予算

総額を百七十九億九千三百四十六万四千円とするもので、総務費では同報系防災無線のバッテリー交換、財政調整基金及び減債基金への積立金の増額等で一億四千四百三十一万四千円の増

消防費では女性消防隊の小型動力ポンプ等購入費の計上等で百二十二万五千円の増、教育費では高野辰之記念館の屋根等修繕、全天候テニスコートの夜間照明設備整備費の計上等で三千八十五万四千円の増及び地方債補正であり、原案どおり可決されました。

決算認定5件については、いずれも原案どおり認定されました。

高校に30人規模学級を



①南部学校給食センター予定地

導入し、高校再編整備計画を立案し直すことを求める意見書」採択を求める陳情については、賛成少数で不採択となりました。

審査終了後、豊田情報センター、南部学校給食センター建設予定地を視察しました。

## 民生環境委員会報告

条例案1件、予算案3件、決算認定11件、事件案2件を15、16日に審査しました。  
 主なものは、条例案では、豊田地域に子育て支援センターを設置するための中野市子育て支援センター条例の一部を改正する条例案については、原案どおり可決されました。

予算案の一般会計補正予算（第2号）は、総務費では防犯等整備事業補助金の増額等で六十九万七千円の増、民生費ではバイオディジェル事業運営費補助金の計上、障害者の入所、通所者の増に伴う支援費の増額、保育所の修繕・営繕工事費の増額、豊田地区子育て支援センター開設事業費等の増額等で五千百九十九万円の増、衛生費では医師の診察による理学的検査を導入した健康診査委託料の計上等で六百七十九万三千円の増であり、他の予算案2件と同様に、原案どおり可決されました。

決算認定11件については、いずれも原案どおり認定されました。



①中央子育て支援センター

水村の合併により飯綱町となることに伴う北信保健衛生施設組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について、岡谷市が新たに加わることに伴う長野県民交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更については、いずれも原案どおり可決されました。  
 審査終了後、中央子育て支援センター、北部子育て支援センター、豊田保健センターを視察しました。

# 経済建設委員会報告

予算案4件、決算認定12件、事件案2件を15、16日に審査しました。

主なものは、予算案の一般会計補正予算(第2号)は、農林水産業費ではえのき茸生体機能研究事業費補助金の計上、水路改修工事費等の増額、松くい虫防除、林道整備費の増額等で二千八百四十七万五千円の増、商工費では高社山登山口公衆便所水洗化工事費で百二十四万九千円の計上、土木費は道路新設改良費の増額、融雪剤格納庫設置工事、融雪剤散布機、散布用軽ダンプ購入費の計上、河川改修工事費の増額、耐震診断意向調査に係る経費の計上等で八千三十三万三千円の増、災害復旧費は8月16日の豪雨災害による農地農業用施設及び道路橋梁の災害復旧費の計上、平成16年度発生災害復旧費の増額で二千二百二十二万四千円の増であり、他の予算案3件と同様に、原案どおり可決されました。

決算認定12件については、いずれも原案どおり認定されました。



⑧ 国道117号線替佐バイパス

事件案では、北陸新幹線の高架橋建設に伴い、1路線を廃止する市道路線の廃止について及び地元区長及び地権者から申請のあった1路線、北陸新幹線の高架橋建設に伴い新設された3路線を市道として認定する市道路線の認定については、いずれも原案どおり可決されました。

審査終了後、浄化管理センターコンポスト施設、国道117号替佐バイパス、ワインぶどう園地、たかやしろワイナリー、一本木公園を視察しました。

## 意見書

可決された意見書  
(関係行政庁に提出)

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

(要旨)

義務教育費国庫負担制度については、昭和60年度予算において、旅費・教材費が国庫負担から除外されて以来、恩給費の除外、地方交付税不交付団体への退職手当の補助率の大幅削減、共済費追加費用の負担率の引き下げが行われた。更に平成17年度は暫定措置としながら4250億円が一般財源化された。

平成18年度予算編成においては、公立中学校の教職員の給与費の適用除外を含む義務教育費国庫負担制度の抜本的見直しを検討課題にすることが危惧される。そこで、義務教育の水準の維持向上と機会均等及び地方財政の安定を図るため、左記事項を実現するよう強く要望する。

記

1 国の責務である教育水準の最低保障を担保する

ために必要不可欠な、義務教育費国庫負担制度を堅持し、「交付金化」や「一般財源化」を行わないこと。

2 公立中学校の教職員を義務教育費国庫負担制度の対象教職員として引き続き堅持すること。

3 国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当などを復元すること。

30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書

(要旨)

学校を取り巻く諸問題を解決するには、現行の「40人学級定員」を引き下げて少人数学級において、一人ひとりの子どもたちの深い信頼関係に基づいた心の通い合う教育をすることが不可欠である。既に都道府県によつては、独自の財政措置によつて少人数学級を実施しているが、厳しい財政状況のあり国の責任で30人学級を実施していくことが求められている。

次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、左記事項を実現するよう強く要望する。

1 国の責任において早期に「30人学級定員」を実現すること。

2 独自の少人数学級及び複式学級解消策を実施している都道府県に、国の財政措置を講ずること。

3 教職員定数の大幅増を実現すること。

長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書

(要旨)

2002年度から県独自に実施した「30人規模学級」は、一人ひとりの子どもたちの深い信頼関係に基づいた心の通い合う教育のために不可欠な措置であり、県独自の施策に深く敬意を表するところである。今年度は小学4年生まで県費で措置が拡大されたが、どの子にも行き届いた教育を保障する観点から、小・中の全学年において同様の施策が早期に実施されることが求められている。

一方、少子化の中で過疎化の進む地域においては、現行基準の下では複式学級

が増加せざるを得ない状況も生まれている。たとえ少人数の子どもたちであつても教育保障の観点から、複式学級は避けるべきである。そのためには現行の複式学級の基準を改善し、県独自の複式学級解消措置を一層充実させることが求められている。

次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、左記事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 県独自の「30人規模学級」を小・中全学年へ早期に拡大すること。
- 2 現行の複式学級の編制

陳情

基準を改善し、県独自に複式学級解消措置を一層充実すること。

3 県独自による教職員配置の大幅増を実現し、極力市町村に負担転嫁をしないこと。

陳情第3号 「高校に30人規模学級を導入し、高校再編整備計画を立案し直すことを求める意見書」  
採択を求める陳情  
陳情者 長野県高等学校教職員組合  
執行委員長 中島 武  
(長野市県町593番地)

8月臨時会

会 期 8月1日 1日間  
議案件数及び議決内容  
予算案 2件 承認  
・ 平成17年度中野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について  
・ 平成17年度中野市水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について

事件案 3件 可決

・ 中野市北部学校給食センター建設工事(建築工事)請負契約の締結について  
・ 中野市北部学校給食センター建設工事(機械設備工事)請負契約の締結について  
・ 財産(除雪ドーザ)の取得について  
意見書案 1件 可決  
・ 県立高校再編整備候補案の白紙撤回を求める意見書について

傍聴席

ここで話し合われたことが、今後どのように踏み込まれていくか、実現に向けていくのか。会議が無駄にならないよう、前向きに市民の代表として進めていくしてほしい。

質問事項があらかじめ分かっているのだから、答弁も事前に公開するなどして、議場では書かれたものを朗読するのではなく、丁々発止のやり取りを期待します。

市民のため、実情を把握し、今後の取組みなど議論されていて、とてもありがたい気持ちになりました。議会を傍聴することで、行政に対する関心や協力しようとする気持ちが多くなると思います。私たちが選出した議員の方々の働きも理解できる良い機会でした。市政一般質問ですが、市民からの要望や現状を細かに質問、提案されていて、正直驚きました。生活していく中で、不便

なことがあつても「仕方がない」と考えてしまいがちでしたが、もっと要望して、参加していくべきなのではないかと思いました。答弁のほうは、いまいち具体性にかけると思いました。

我々が日ごろ考えているより高度な(地域全般に対して)意見、発言をされることと思ひ、楽しみに傍聴しましたが、がっかりいたしました。我々の代表たる議員の皆様は、しっかりと勉強してプロになってほしいと思います。民間企業、農、商業者は不況で苦しんで居ります。市政自ら頑張つてほしいと思います。質問も全員、1問、2問位実施されることが大切で成果が上がると考えます。質問や答弁もきれいにまとめられ、初めて聞いた私にとつては、分かりやすかったですし、こう質疑されているんだと感じました。

たくさんの方の傍聴感想文の中から抜粋で載せさせていただきます。議会だより編集委員長

あとがき

10月8日、盛大に合併記念イベント「元氣まつり」が開催されました。あいにくの雨ではありましたが、新市の門出を祝い、ともに築かんと意欲あふれた歴史がまたひとつ刻まれました。運営に携わられた皆様にお心から感謝申し上げます。

9月議会では、別掲のとおり数多くの議会傍聴感想文をいただきました。お褒めの言葉、厳しい注文、励ましの叱咤等々。議会を傍聴していただくことで、行政への関心を深めていただく一方、議員は市政に携わる代表者としての姿勢を省みる機会ともなりますので、今後とも積極的な傍聴、そして感想をどうかよろしくお願い申し上げます。

市議会を傍聴しませんか

市政を知る良い機会です。皆さん議会の傍聴にお出かけください。次の定例会は、12月です。日程等は議会事務局へお問い合わせ下さい。